学習指導要領対応と、新しい学力評価方式で、

さらにパワーアップ♪

標準学力調査



	問

荒井 克弘

東北大学 名誉教授 大学入試センター 名誉教授

荘島 宏二郎 大学入試センター 教授 調査分析設計協力

調査編集協力

算数·数学

樺山 敏郎

中田 正弘

清水 宏幸

田代 直幸 山田 誠志 白百合女子大学 教授 山梨大学大学院 教授 常葉大学 教授

大妻女子大学 教授

至学館大学 教授

東京書籍

	· ~/-
	///
_	

標準学力調査の特長	p.2
•目標準拠方式と結果資料	p.8
•段階評価方式と結果資料	p.12
•個人票	p.16
●英語特集	p.18
•質問紙調査 (i-checkなど)	p.22
▲フノアセフ	n 24

///調査問題と評価方式の種類 /////

標準学力調査は、経年比較を重視した「部分改訂版」と、毎年問題が変わる「全面改訂版」の2種類の調査問題を 発行しています。

また、小問ごとに設定した出題のねらいや目標値 (期待正答率) に達しているかどうかを確認する、「目標準拠評価方式」という方式に加え、「段階評価方式」という新たな方式が加わり、2種類の評価方式から結果帳票を選べるようになりました。



2種類の調査問題から選べる!

全面改訂版

部分改訂版

100%

問題の 改訂率

一部改訂

調査問題を毎年全面改訂します。

実際の問題は P.4 へ!

調査問題を必要に応じて改訂します。

標準スコアで比較

経年比較

同一問題を正答率で比較

標準スコアを基準とした、経年比較資料 (教育委員会・学校用) を提供します。

標準スコアを基準とした資料のほかに、前年度 と同一問題での正答率を基準とした経年比較 資料(教育委員会・学校用)を提供します。 誤差のない厳密な経年比較が可能です。

全国值決定後

結果資料の 返却

採点終了後

1学期版:6月初旬以降順次返却3学期版:1月中旬以降順次返却

1 学期版: 5 月中旬以降順次返却 3 学期版: 1 月初旬以降順次返却

回収しない

問題用紙の 回収

回収する

問題用紙は回収いたしません。つまずいた問題 の振り返りに使用できます。

※1学期版小学校2年生と3学期版小学校1年生は除く。

※調査の公平性を保つため、児童生徒への問題冊子の返却は、調査時期に関わらず、1学期版は6月末まで、3学期版は3月10日までお待ちください。それまでは、校内での使用・保管をお願いいたします。

調査の性格上、問題用紙は結果資料到着後に すべて回収します。

結果資料がデータで確認でき、実際の児童生徒の解答と問題が確認できるマイアセスもございます。詳しくは P.26 へ!



2種類の評価方式から選べる!

目標準拠評価方式

評価は、「目標値」を基準として行います。目標値は、解答形式や出題形式をもとに初期設定し、 プレテストの結果を加味して調査編集協力委員 と協議のうえ、統計処理して決定します。

詳しくは **P.8** ヘ**→**

段階評価方式

評価は、「ステップ」と呼ばれる、学力を5段階に順序づけて分類する段階評価を基準として行います。「ステップ」は、「潜在ランク理論(LRT: Latent Rank Theory)」を用いて結果を分析し、調査分析設計協力委員と協議のうえ、検証を重ねて決定します。

詳しくは **P.12** ヘ**→**

目標値を基準に、小学校3段階、中学校5段階で 設定

総合評定

4カテゴリーのステップを5段階で表し、その結果から総合ステップを5段階で設定

目標値を表示

小問の レベル表示

5段階の難易度を表示

小学校3段階、中学校5段階の総合評定の 人数割合を表示 学力階層の 割合

5段階の総合ステップの人数割合を表示

平均正答率を表示

小問正答率

平均正答率に加え、ステップ別の正答率を 表示

目標値-5ポイントを基準に、その値以上の 人数割合を達成率として設定

達成率

ステップ3~5までの人数割合を達成率として 設定

目標値と正答率を比較して表示

個人票

4カテゴリーのステップと総合ステップを表示

個人票について、詳しくはP.16へ!

調査問題の特長 ハ学校英語は 1.18~!

学習指導要領に対応

学習指導要領の改訂のポイントを踏まえ、評価の観点「知識・技能」 [思考・判断・表現] を適切に測る問題設計です。

多様な表現力を測る

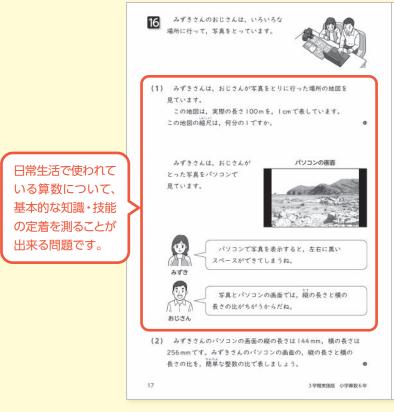
豊富な記述式問題で子供たちの多様な考え方を評価します。

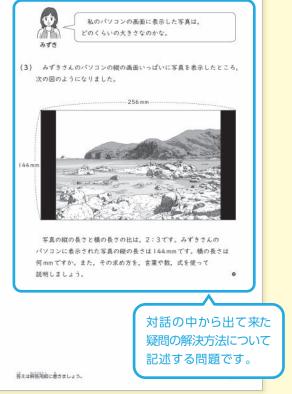
課題解決学習を意識

日常生活や普段の授業等の場面を設定し、

見方・考え方を働かせて取り組む課題解決の流れに沿った問題を出題します。

日常生活で出て来た疑問を、算数で学習したことを使って 解決するような場面を積極的に取り上げています。





6

さんは、

本でうさぎのことを調べて、 小学校の飼育委員会では、

飼育しているうさぎのふれあいイベント

イベントの参加者に向けたポスタ

を作っています。 を行うことにしました。

次の

本の

部

前是田本



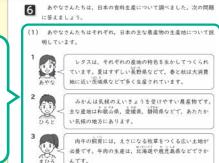


自然の事物・現象に身につけた 知識を適用し、思考・表現する 問題です。

統計資料を読み 取り、正確に説明 するという授業 での班別活動の 場面を想定した 問題です。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

> 日本の食料生産 の特色に関する 知識と、日本地 図をもとにした 資料を読み取る 技能を測る問題 です。





視野が広く、ほぼ360度見わたす ことができる。

学習指導要領における「情報の扱い方に関する事項」に対応します。 複数の資料を関連づけて整理し、伝えたいことを明確に記述する力を測ることができます。

ĵ

前田さんは、

【本の

一部」をもとに、

【ポスターの

2

前田さんは、

下書き」の「○気をつけてほしいこと」を書く どのような工夫をしていますか。

最も適切なものを、

書いています。

★に入る文を

内容を理解しやすくしている。 に番号をつけて実際の手順に並 [本の一部]

耳は3km先の音も聞こえると

目的や意図に応じて、書き 表し方を工夫出来ているか を問う問題です。

目的に合わせて項目を立て直す の説得力を高めている。 具体的な数値を積極的に用いることで、 図を用いて整理することで、

店員さんの話】 Ιđ うさぎをだっこするときの具体的な注意点を、 ください。 る点)にしたがって書きましょう。 てだきかかえましょう。 [本の一部] ふれあいイベントでうさぎをだっこするとき 低くかがんで、 注意を守って、 五十字以内で書くこと。 をもとに書くこと。 うさぎを横向きの体勢にし また、

トショップの店員さんから聞いたことをもとにして [ポスターの下書き]の * を、 あとの(注意す 店 店員さん 答えは解答用能に書きましょう。

いわれる。けいかいしていると きは、耳がピンと立っている。 青青 においにとてもびん感。きゅ う覚は人間の10倍近くあり。 いつもとちがうにおいがする ゆるやかなカープをえ がいている。あおむけ などで背骨がまっすぐ と、ふきげんになったりこう になると、苦しがる。 足 協力が強く、高くジャンプしたり、土をほったりすることができる。 【ポスターの下書き】 ~注意を守ってふれあいイベントを楽しもう~ 飼育委員会 さぎとのふれあいは、楽しみですね。でも、 多い動物で、野生の本能が強く残っていることから、とてもけい かい心が強い生き物です。注意を守って、楽しくふれあいましょう。 ○気をつけてほしいこと においに気をつけて! →うさぎは慣れないにおいをいやがります。強いにおいのするものなどは近づけないようにしましょう。 大きな音や声を出さないで!
 →うさぎの耳は物音にぴん感です。急に大きな音や声を出すと、 びっくりさせてしまいます。 追いかけ回さないで! →うさぎの骨はもろいです。急いでにげようとしてジャンプを失 敗すると、折れてしまうことがあります。 低くかがんでください。また、

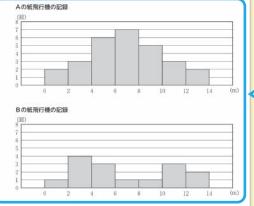
3学期実施版 小学国語6年

情報と情報との関係に ついて理解し、目的に 応じて、文章を簡単に まとめて書くという言語 活動の場面を想定した 問題です。

調査問題の特長 中学校英語はP.19へ!



次の二つのヒストグラムは、AとBの紙飛行機をそれぞれ何回か飛ばしたときの、 飛んだ記録をまとめたものです。例えば、Aの紙飛行機のヒストグラムから、Aの紙 飛行機の2m以上4m未満の記録が3回あったことがわかります。



統計の問題では、 単に知識・技能を 問う問題だけでは なく、生徒がデータ の傾向を総合的 に考察し、判断する 問題も出題して います。

智樹さんと真由さんは、上の二つのヒストグラムについて話し合っています。

智樹さん「大会では、A、Bのどちらの折り方の紙飛行機を選べばいいのかな。」 真由さん「AとBの紙飛行機のヒストグラムは、全体の度数が違うけれど、度数 をそのまま比較していいのかな。」

AとBの紙飛行機のヒストグラムを比較して、そこからわかる特徴をもとに、クラ スの紙飛行機の折り方を選ぶとすると、あなたならAとBのどちらの折り方を選びま すか。A、Bのどちらか一方の折り方を選びなさい。また、その折り方を選んだ理由 を、 AとBの紙飛行機のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの折り 方を選んで説明してもかまいません。

答えは解答用紙に書きなさい。

与えられた情報を 適切に読み取り、 生徒自らが判断し た理由を数学的に 表現する力を測る 問題です。

真理子さんは、ある日、窓ガラスの表面に小さな水濱がたくさんついていることに 気がつきました。真理子さんは、窓ガラスに水液が結構するしくみについて考え、あ とのような実験を行いました。あとの問いに答えなさい。

中学数学2年



?

フラスコ

加熱した石

どのようなときに、窓ガラスに水滴が結露するのだろうか。 [予想] 窓ガラスの外側と内側の温度のちがいによって起きる。

右の図のような装置をつくってしばらく置き、フラスコの 底のようすを調べた。

フラスコ

氷水 (4°C)

ピーカー

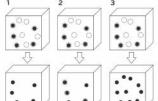
1~4から1つ選びなさい。

フラスコ

ピーカー

ますか。次の1~4から1つ選びなさい。ただし、〇は気体としてふくむことので きる水(水蒸気), ●は気体として空気中にふくまれている水(水蒸気), ●は結露に よって出てきた水を表しています。 2

(2) 窓ガラスに水滴が結びするようすを、粒子のモデルを使って表すとどのようになり



グラフと表を読み 取り、実験の結果 を分析・解釈する 問題です。

真理子さんは、結構しにくくする方法について調べたところ、部屋の窓を二重にす るという方法を見つけました。真理子さんは、次の図のように、冬の寒い日に、窓の 外の空気の温度、室内の空気の温度、1枚目と2枚目のガラスの間の空気の温度を、 温度計ではかりました。そのときの結果を、表にまとめました。また、気温と $1\,\mathrm{m}^{\mathrm{s}}$ の空気にふくまれる水蒸気の質量との関係を、次のグラフに表しました。



窓の外の空気の温度 室内の空気の温度 ガラスの間の空気の温度 8.5℃ 19.0℃

これらのことから、窓を二重にすると、結蝶しにくくすることができるのはなぜだ と考えられますか。その理由を簡潔に書きなさい。

答えは解答用紙に書きなさい。

知識・技能を 活用し、実験 を立案する力 を測る問題

条件制御の

·加熱した石 (45°C) 加熱した石 (45°C) - 室湿の水 (25℃) - 別水 (4℃)

真理子さんは、フラスコの中を部屋の外の空気、ピーカーの中の空気を部屋の中の 空気と見立てて、実験を行いました。寒い冬の日に暖房で部屋をあたためたときの部

屋の窓ガラスの表面を調べるための実験は、どのようになると考えられますか。次の

フラスコ

加熱した石

13

中学校国語

友達の意見を受け

て推敲するという、

日常生活の中での

対話的な場面を

想定した問題です。

14

今日的な話題や日常生活に関連した話題を積極的に取り上げています。

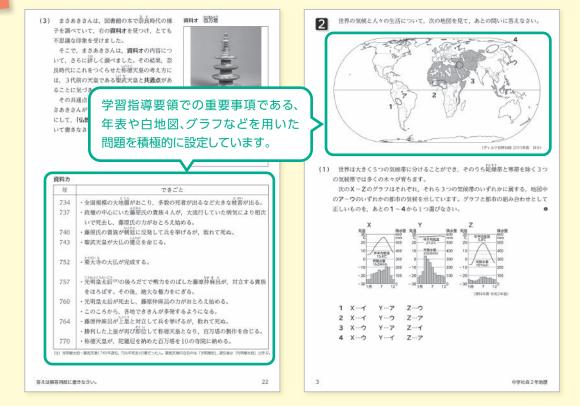


見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

非連続型テキストの情報を関連づけた上で自分の考えをまとめ、 相手に効果的に伝わるように文章の構成を考える問題です。

中学校社会

小学校で学習した内容との系統性を重視した問題を取り入れています。生徒がつまずきやすい学習事項の定着を測ることができます。



【掲載写真資料所蔵・提供】奈良国立博物館 撮影:森村欣司



「目標準拠評価方式」で子供た

~標準学力調査が積み上げた信頼の評価方式~

目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、

小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したものです。

「出題形式」や「解答形式」が持っている一般的な特性をもとに初期設定し、かつ、プレテストなどによって検証し、 実際の正答率と大きく乖離したものについては補正したうえで決定しています。

1

価

方式」での学力調査

小問ごとに設定される「目標値」

「目標値」は、その小問の難易度を表します。 値が小さいほど、難易度の高い問題です。





小問ごとの 「目標値」 の平均値が、 教科全体の 「目標値」 です。

小問1 目標值80%

小問2 目標值**80**% 小問3 目標值**75**%

小問4 目標值60%

小問5 目標值80%

小問6 目標值**60**%

小問7 目標值**70**%

小問8 目標值**60**% 小問9 目標值**65**%

教科総合 70%

| 2 | 目標値と正答率を比較して到達状況を確認

集団 (クラス、学校) の正答率を目標値と比較することで、 その後の授業設計に役立ちます。



小問8 目標値60% クラス正答率88%

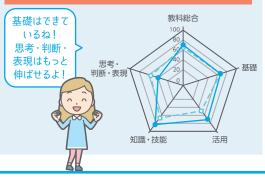
しっかり身についている児童生徒が 多いクラスです。



小問8 目標値60% クラス正答率47%

苦手な児童生徒が多いようです。 復習の時間を作りましょう。

一人ひとりの正答率を 目標値と比較することで、 学力向上の手立てが得られます。



「目標準拠評価方式」のメリット

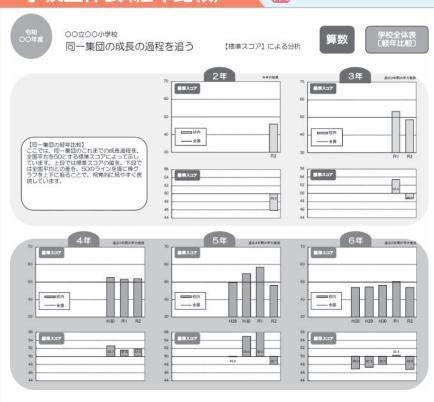
- 1 目標値は、受検者集団に依存しない、絶対評価的に用いることができる指標です。
- 2 教科総合、基礎、活用、観点や問題の内容、解答形式など、それぞれのカテゴリーの目標値は小問ごとに 設定された目標値をもとに示されるため、カテゴリー正答率と比較することができます。

「目標準拠評価方式」の結果資料の例

段:段階評価方式の結果資料にも同様の資料が含まれます。

学校全体表(経年比較)

段



資料の見方

教科ごとに、同一集団のこれまでの 結果を経年で示しています。 全国平均を50とする「標準スコア」 による棒グラフで表し、最長6年間の 学力推移の表示が可能です。

資料の見方

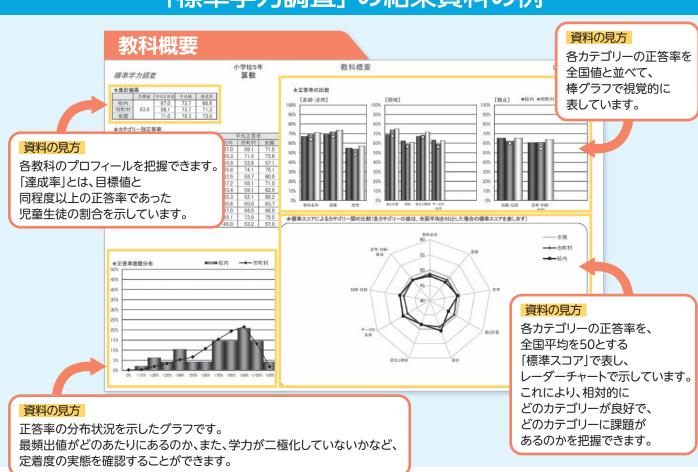
全学年/全教科の結果を、 文部科学省が設定した [知識・技能] [思考・判断・表現]の 観点ごとに確認できます。

全体表(観点別)

民

																	令	和00年	
		53	国語			社会			算数		- 13	理科			英語		全受検教科		
学年			製品別(1 加維-技能			観点別 知識·技能	正答率 思考-刊版· 表現		観点別! 対課・技能			観点30 9間·豆和			観点別) 知識·接続		正答率 の合計	正答率 の平均	
	目標値	78.0	71.9	81.7	-	-	\rightarrow	79.2	87.5	69.6		-	-	-		_		-	
	校内 平均正答率	74.2	60.4	76.9				78.3	66.9	66.6							152.5	76.3	
2年	前年度 校内 平均正答率	90.8	92.8	96.8			\rightarrow	89.0	87.0	80.8							179.8	89.9	
: ·	全国 平均正答率	79.4	69.7	87.1				84.0	68.3	72.7							163.4	81.7	
	評価	=	*	=		- 7		+	=	4									
	目標値	74.6	71.9	76.4	- 6	- 2		72.0	60.5	64.2								3	
	校内 平均正答率	76.8	74.7	76.8				74.8	67.6	64.2							151.6	75.8	
3年	前年度 校内 平均正答率	77.6	80.5	81.3				79.9	71.7	73.2							157.5	78.8	
	全国 平均正答率	78.9	74.3	80.1				77.3	85.2	70.4							156.2	78.1	
	評価	=	÷	+				=	Δ	+								- 2	
	目標値	68.0	65.0	70.0	70,6	67,5	65.0	67.2	65.0	51.0	70.1	61.7	67.3						
	校内 平均正答率	74.6	69.7	76.9	63.7	57.7	55.1	78.1	77.0	67.3	67.6	63.3	65.2				284.0	71.0	
4年	前年度 校内 平均正答率	91.2	90.5	85.4		- 0		89.9	89.5	82.5							181.1	90.6	
	全国 平均正答率	71.9	67.2	74.1	76.4	72.4	70.5	74.8	71.2	61.8	73.3	67.0	71.2				296.4	74.1	
	評価	Δ	the .	Δ	*		•	Δ	Δ	Δ	=	=	=						
	目標値	68.4	61.9	57.2	64.1	56.5	59.4	63.9	60.0	54.1	66.4	65.8	58.8	61.9	59.6	46.6			
20	校内 平均正答率	67.9	60.7	56.7	53.4	45.5	49.5	67.0	65.3	60.6	57.8	53.2	49.2	63.7	62.0	49.8	309.8	62.0	
5年	前年度 校内 平均正答率	83.7	76.3	68.1	59.1	52.6	54.2	72.3	58.3	63.5	58.5	57.8	54.8				273.6	68.4	
	全國 平均正答率	73.3	64.2	59.9	69.1	60.5	64.0	71.0	65.2	63.7	67.7	66.4	62.9	62.3	61.4	46.8	343.4	68.7	
	評価	=	=	=		*	Y	=	Δ	Δ	•	•	▼	=	=	=		- 3	
	目標値	68.1	66.3	65.0	66.4	59.3	65.8	63.2	47.1	52.1	69.5	68.3	68.3	57.5	56.4	39.7	- 9	- 8	
	校内 平均正答率	69.5	69.5	67.9	71.0	63.1	70.9	63.4	43.4	49.4	72.2	74.0	73.7	58.3	55.5	38.7	334.4	66.9	
6年	前年度 校内 平均正答率		20.000		58.4	52.1	61.3				64.7	64.3	64.0		50,750.00		123.1	61.6	
	全国 平均正答率	74.3	72.3	69.2	69.5	52.6	70.2	69.8	52.7	61.0	72.1	70.6	70.0	59.0	56.2	36.7	344.7	68.9	
	評価	÷	4	+	÷	÷	Δ	=	=	4	÷	Δ	Δ	÷ .	+	=			
評価	Δ	1		1			1	1	3	2		1	1						
数		4	4	4	1	1		4	2	3	2	1	1	2	2	2			
188	▼		1		2	2	2		0.0		1	1	1					19	

「標準学力調査」の結果資料の例





結果資料の納品方法は 右記の3パターンから お選びいただけます。

資料 記述 内容 反応 無解

- ①紙帳票のみ
- 2データ (CD) のみ※①には含まれていない結果資料も入っています。
- ③紙帳票+データ (CD) ※追加料金 (1校あたり1,100円 (本体1,000円)) がかかります。



資料の見方

設問ごとの解答類型の反応率を 示しています。

また、無解答率も確認できます。

資料の見方

選択問題における反応率の 3つの典型的なパターン 「逆転」「接近」「分散」に該当する 場合は表示されます。

〇〇立〇〇小学校

記述問題等解答類型·

記述問題等解答類型一覧

	at.		98 98			1			50.0	1
			24 24		正领条件。·辩告内容	柳田様型(金属)	8284	五年	クラス	拉內
				小放第一位一種数の計算ができる。	1. 6	正著	1		72.4	72.5
	4		(4)	A CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF		4.3 [位を摘えずに計算している]	2	×	13.8	16.7
						上記は外の展布	B	×	10.3	6.3
		+		-		無解答(無記入の場合)	0	×	3.4	4.3
				小教第二位十小数第二位の計算ができ	13. 2	正省		0		68.
	75		(85)	ō.		10.20 [末位の処理ができていない]	2			10.4
	130					上記以外の解析	9	×	27.6	18.8
	_	_	_			無解答(無証人の場合)	.0	×	3.4	2.
				数直線上に示された分数を読み取ること	1.2/3(6/3)	正妆	1	0	62.1	64.0
	199			Mres.	25-546-31	正答以外の分類を書いているもの	2	H	10.3	14.6
	15	4				「龍高線が分数を乗していることは機能している」				
	1	100				上記以外の報告	- 9	. H	20.7	14.
	- 1	_				無解答(無記入の場合)	0	×	6.9	8.
				正方形の運動を求めることができる。	25 (cm ²)	正復	1			60
		12	(1)			20(cm²) (王方形の限5の長さを求めている)	2	SN.	0.0	6.3
	_		5225			上記以外の報答	- 9	ж	31.0	25
解答類型の)					無料答(無記入の場合)	D	×	10.3	8.
サロ双土り	/			四角形の対角部の性質を理解している。	3	選択限1、自動の対角線が豊富に交わると考えている場合	1	×	0.0	. 2
TII -\\\				The section of the se		選択医2、早行四辺形の対共線が乗高に交わると考えている場合	2	×	24.1	20.
型ごとの		14				进行独立 正 独	3	O	55.2	51
± C C V/		2.7.				選択版4:長方形の対角線が推直に交わると考えている場合	4	×	17.2	18
示しています。						上記以外の報告	- 8	×	3.4	2
います。		_				無解答(無記人の場合)	-0	28	0.0	2
				折れ線グラフの領きから変わり方を誘み	8	選択状1-気温の上がり方が2番目に大きいものを遅んでいる	1	×	10.3	8
カマキキマ				取ることができる。		選択限2:気温の上がり方がいちばん大きいものを選んでいる	2	×	27.6	22
忍できます	0	18.				選択院3 気温がいちばん高くなるものを満んでいる	3	×	6.9	4.
	- 1	1				退稅技4.正簽	4	0		62
	_					上記以外の解答	9	×	0.0	0
	_	_	-		200000000000000000000000000000000000000	無程等(無犯入の場合)	0	×	0.0	2
				伴って変わるこつの敵量の関係を式に	(例)5×D=0	正签	100	0	55.2	58.
				表すことができる。		ロ×ロ=ロやロ×Oなど、ロサロなどの記号のみで式をつくっている場合	2	- 8	6.9	12.5
	-20					[口を使った式を記号のみで点式しようとしている]				
	33	18				ロ×O=5など、定項を口やOなどの配号のみでつくっている場合	3	×	10.3	ä.
						[正規を取引のみで立式しようとしている]				
						上記以外の報告	9	Ж	10.3	8.3
	-			L		無解答(無記入の場合)	0	×	17.2	14.6
					(例)あまりがわる数より大きくなっているから。	正管			44.8	431
	36	20		ō.		ある別に東耳しているが、展開が子通切を場合		М	17.2	18.4
						上記以外の報告	0	×	17.2	20.8
	-		-		THE STREET LAW AND A STREET WAS ASSESSED.	無解答(無記入の場合)			20.7	16.7
					(例)遺園地には行ったけれど、動物園には行かなかった子		-		51.7	54.
			0.007	を見て、対象のマスがどのような意味を	どもの人数。	2つの要素について触れているが、「且つ」が表現できていない場合	-8-	. ж	6.9	4.3
	36	21	(1)	持っているが指摘できる。		遊園地には行った。もしくは敷物圏には行かなかったのどもらか片方のみを書いてい	3	ii.	3.4	2.
	1000		(S=X)	100000000000000000000000000000000000000		る場合 [二次元表の意味を理解していない]			- 3333	
						上記以外の制管	- 5	М	13.8	18.4
						無解答(無証人の場合)	0	H	24.1	20.1

これらの資料から、児童生徒の書いた答案を具体的にイメージできます。 「このクラスは、計算問題はよくできているが、事象の説明は類型2が多いから、 あと一歩深く理解させたいな。」のように、指導方針に活かすことができます。

※各種個人別帳票には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。



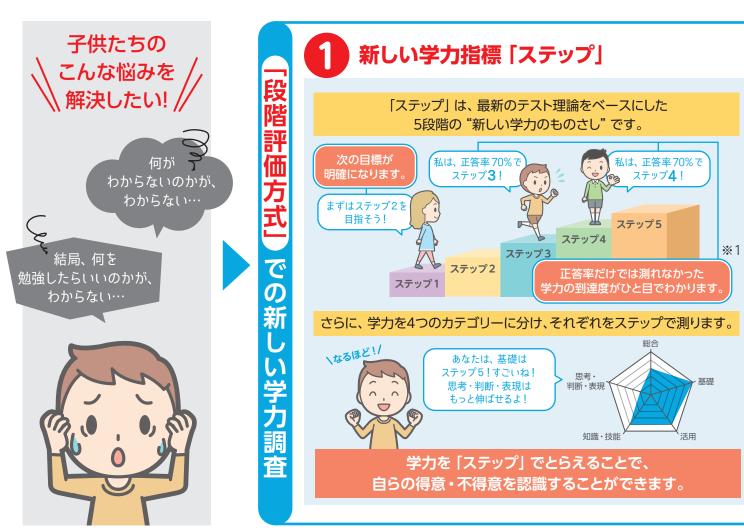
「段階評価方式」の学力調査で

~子供たちの「自ら学びに向かう力」を育成する

学習指導要領で育成が求められる資質・能力の一つに「自ら学びに向かう力」があります。

変化が激しく予測が困難な現代社会では、子供たちが主体的に学ぶ学習者として成長していくことが強く求められて「自ら学びに向かう力」でキーワードになるのは「自己調整力」です。

自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤しながら調整していく力は、自律した学習習慣を確立する上で重子供たち自身が、"自分は何がわかっていて、何がわからないのか"を知り、"何をどう勉強したらいいのか"を自分で判断そこで、東京書籍は、子供たちが理解の状況を客観的に認識し、次の学習活動の見通しをもつことができる、新しい評価



※1 問題には、教科正答率が高い子供ほど正解しやすい(識別力が高い) 識別力の高い問題に多く正解すると、ステップが高くなる傾向があり

「段階評価方式」のメリット

「潜在ランク理論 (LRT)」をベースにすることで、問題の難易度と一人ひとりの正答・誤答のパターンを反映した 子供の学力を、段階的に表すことができます。正答率は「全問題数のうち何問正解できたか」という考え方で 表される指標ですので、難しい問題に正解しても易しい問題に正解しても、正答率にその差異は反映されません。 「段階評価方式」では、どの問題を解くことができ、どの問題を間違えてしまったのかを分析することにより、その 差異を明らかにします。

子供たちに新しい学びを!/////

視点に立って開発した新しい評価方式~

います。

要です。

していくことに、学力向上のカギがあるといえます。 方式「段階評価方式」を開発しました。

新しい学力指標「段階評価方式」とは?

東京書籍が学力調査の評価方式として新しく開発した「段階評価方式」とは、学力を5段階の「ステップ」に順序づけて分類する方法です。最新のテスト理論である「潜在ランク理論(LRT:Latent Rank Theory)」に基づいて設計しており、ステップ間における学力の質的な差異を浮き彫りにすることができます。

2 個別最適化した「ステップアップ」 3

一人ひとりの子供の「ステップ」に合った 学力向上の手立てが得られます。



自分のステップに合った学習内容や方法をみつけ、 学びに取り組むことが学力向上の近道です。 3 より良い授業づくりが可能に

集団 (クラス、学校) の学力を 「ステップ」 でとらえることで、その後の授業設計に役立ちます。



子供たちの「ステップ」をもとに、学力を伸ばす カリキュラムマネジメントが実現できます。

問題、易しすぎて皆できる問題、難しすぎて誰もできない問題などのタイプがあります。 ます。

2 正答率の1ポイント、2ポイントの違い(差)について、学力の質的な意味に言及することはなかなか困難です。その点、「段階評価方式」では、子供が到達している学力段階を明確に切り分けて示すことができます。「段階評価方式」を使うことで、各ステップの学力段階から、次のステップに上がるための学びの目標が見えやすくなります。 "新しい学力のものさし"で見えてくる学力段階は、授業づくりを通して集団全体のステップアップを目指すための指針となります。

「段階評価方式」の結果資料の例

ステップ別人数比(全体)

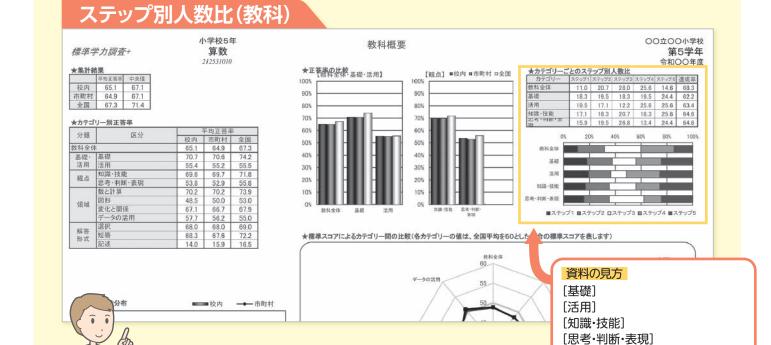
これらの資料から、正答率だけでは

読み取ることができない「集団の特徴」をつかむことができます。

のように、集団の学力の特徴をより多角的にとらえることができます。

「このクラスは、ステップ3以下の割合が大きい。」 「基礎は定着しているが、活用はまだ伸びしろがある。」





の4つのカテゴリーごとの

「ステップ別人数比」を示しています。

ステップ別分析シート

標準学力調査

算数

ステップ別分析シート

〇〇立〇〇小学校 第5学年

小問ごとに児童生徒のステップ間の どこでいちばん大きな正答率の差が できているのかがわかり、 定着度の実態を確認することが できます。 ステップごとのつまずきが より明確になり、 指導改善の手がかりが得られます。

令和〇〇年度 【校内】 四部の合いい

20 付入・11 たー20 付上(中込みい)の計算ができる。
30 付入・20 付上・20 付上・2 選し 大団 中団 小問 新答形式 会号 委号 委号 委号 問題の内容 出版のねらい 正答印 基度 89.0 54.9 56.1 76.8 85.4 79.3 67.1 76.8 57.3 84.1 76.8 64.6 63.4 ②わり算・計算のきまり 3小数 多分數 な小数 本の生態 (本の生産・がい歌の 選択 (力を上来・がい歌の 選択 (名の東 選択 (名の東 選択 (名の東 選択 (名の東 選択 (名の東 選択 (名の東 選択 (名の東) (本の上の) (本の ①他と丸・がい歌の表し 方 0 4 (1) ⑥分数 ①他と宛・がい数の表し 大 0 5 5 (1) 6 (2) 7 (1) 7 (2) 97 61.0 73.2 62.2 59.8 67.1 69.5 86.6 47.6 79.3 58.5 67.1 58.5 67.1 58.5 80.5 53.7 52.4 9.8 70.7 61.0 原稿単な場合について の割合 0 9 10 (1) (2) 11 (1) (2) 0 0 0 0 0 12 13 14 15 15 (1) (2) (1) (2) (1) ⑥価値 ⑥いろいろな形 ②わり算・計算のきまり

折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを複動に電由を説明してい

18

※「問題難易度」は、半飲以上が正答するステップを基準として表しています。 ※ステップ別に答等の太い野線は、限り合うステップ間の正答率の差が、最も大さい箇所を表しています。 ※「ステップ間ギャップ」は、請り合うステップ間の正答率の差が、30ポイントを担える小貝を表しています。

資料の見方

ここでは小問ごとのステップ別正答率を 示しています。

隣り合うステップ間の正答率の差が最も 大きいところを、太い線で表しています。 正答率が同じ設問でも、

どのステップの層までが正答していて、 どのステップの層からつまずいているの かがひと目でわかります。

例		35.5ポイントの差

	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3	ステップ 4	ステップ 5	正答率
小問/	16.1	37.7	61.3	96.8	100.0	53.4
小問E	9.7	33.4	71.0	90.3	100.0	53.4

 小問AとBは、同じ正答率ですが、 小問Aはステップ4以上の層は定着 しており、小問Bはステップ2以下の 層に課題があるといえます。

37.6ポイントの差

クラス別成績集計表



資料の見方

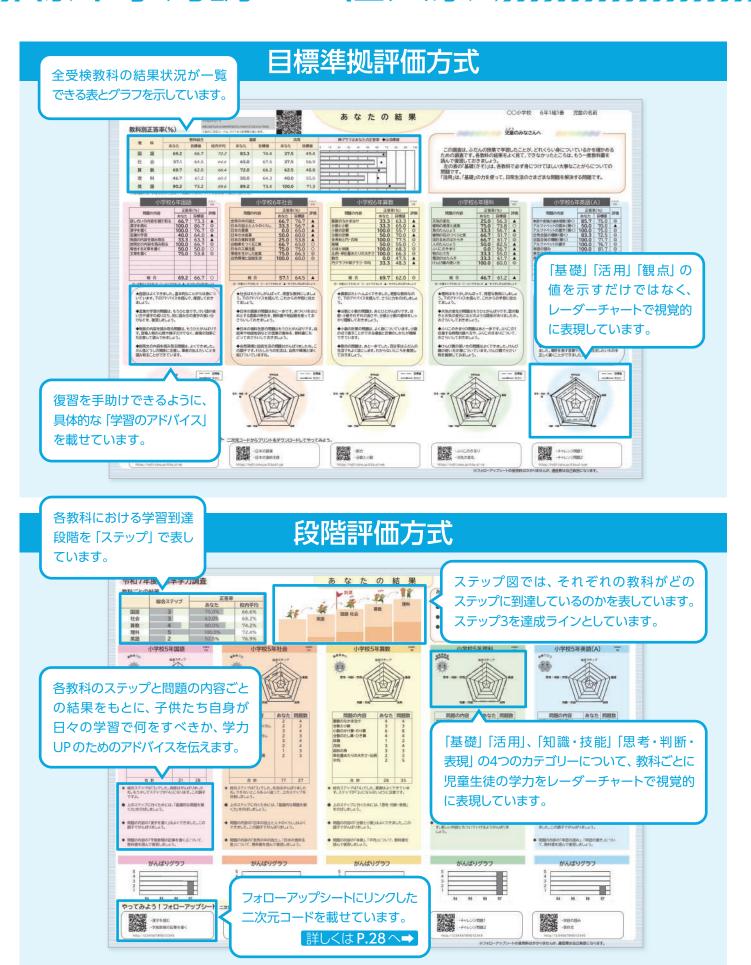
児童生徒一人ひとりについて、 教科ごとの[基礎][活用]、[知識・技能] [思考・判断・表現]のステップと正答率が -覧で表示されます。

Aさんは、 国語の[思考・判断・表現]と、 理科の[知識・技能]を もっと伸ばせるね!

-人ひとりの児童生徒の 学力の特徴をより詳細に とらえることで、 個別指導に活かせます。

100.0 100.0 883 83.8 83.3 83.3 83.8 83.3

•



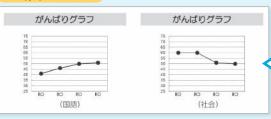
個人経年比較

オプションで個人票に、 「がんばりグラフ」を 用意しました。 一人ひとりの調査結果の 推移がわかります。

※本サービスの提供には、 別途オプション料金1人あたり 53円(本体48円)をいただきます。

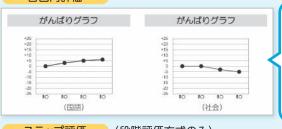
※右記の3種類からお選びいただけます。

標準スコア



教科ごとの成績 (標準 スコア) を毎年プロット し、折れ線グラフで学力 の推移を表します。

自己内評価



調査初年度の成績を、 全教科横並びで0に設定 し、これを基点にして以降 の学力の推移を折れ線 グラフで表します。

ステップ評価 (段階評価方式のみ) がんばりグラフ



教科ごとの成績(総合 ステップ) を毎年プロット し、棒グラフで学力の 推移を表します。

個人票の裏面

個人票の見方

個人票の裏面には、児童生徒や 保護者用に「個人票の見方」を 示しています。



この調査は、ふだんの授業で李潔したことが、どれくらい身についているかを確かめる めの調査です。各数料の拡張をよく見て、できなかったところは、もう一度数料書を んで重回しておきいよう。 50次の「基礎(きそ)」は、各数料で必ず身につけてほしい大事なことがらについての 在いるのでは、 節題です。 「活用」は、「基礎」の力を使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

の内容を聞き取る 総会 84.5 68.4 0 0 ABJCCORLE O JCCORLE A - 53745/4479843

◆記し合いの内容を聞き取る問題は、もうひとがん はりです。因の内容や記し方のくふうだけではなく、 それぞれの立場にも注意して聞きましょう。

◆漢字を書く問題は、得意なようですね。新しく言う 漢字は、字形や画数、漢字のもっ意味などをあわせ て覚えると、いっそう言葉の力がつきますよ。

◆交章を書く問題は、よくできました。自分の意見とその理由を明確にして、交章の組み立てを考えながらしっかりと書くことができています。

| おちた 日間値 | 100.0 74.2 0 40.0 53.0 A 100.0 76.3 0 0.0 57.7 A 66.7 58.3 A 40.0 53.0 A 報金 61.1 64.1 O ABJCCOBLE O JCCOBLE & 6396がAFVELA3 ★開頭はたいへんよくできました。得意な検科なので、下のアドバイスを挟んで、さらに力をのはしましょう。 ★社会はよくできました。基本的なことからは時に ついています。下のアドバイスを読んで、復賃してお きましょう。

◆日本の国土と人々のぐらしの問題はよくがんばり ました。日本の地形や気候についてよく理解できて います。この個子で学習を進めましょう。

◆日本の展集の問題はむずかしかったようですね。 米づくりをはじめとする農業の特色を、教科書や地 銀帳を使ってしっかりとおさらいしておきましょう。

◆日本の食料生産の問題はあと一事です。日本が特入している食料や日本の食料生産の復贈について、数料費でもう一度かくにんしておきましょう。

50.0 100.0 100.0 88.9 100.0 50.0 75.0 68.8 62.5 67.2 68.8 70.0 42.5 66.3 62.5 かけ算・わり算 たし算・ひき算 総会 76.3 63.9 D ★解数はたいへんよくできました。荷頭な教科なの で、下のアドバイスを読んで、さらに力をのばしま しょへ

◆小数のかけ算・わり算の問題は、よく費についてい ます。小数のかけ算・わり算の式で表すことができる 増資と計算のしかたが理解できています。

◆体環の問題は、よくできました。体接を求めるだけでなく、なぜその式で求めることができるのか、きちんとおさえておくようにしましょう。

◆平均の問題は、むずかしかったですか。平均は生活の中でもよく使われています。平均の未め方や意味を散料費で提回しておきましょう。

● 新科ごとに「総治」「臨史」「范前」における、おなたの結果と目標を要要しています。「首領直」とは、頻能してはい、目標タインとなる形容率を、横利ことや影響が関めまとまいことに関したものです。第グラフは、あなたの「機利能治」の定答器を置しています。◆で漂された首領金と

□ ⇒ この等分類素の目的を設得しています。また、学校等で等力製造の個人選年比較をお挙し込みの場合は、教育ごとの設備を留年プロットした、教代職グラフが受点されます。

⇒ 開始の外路」ごとに、あなたの正常学と目標金を製で禁しています。「評価」の縁は、目標金を基準として近年の3接続で乗しています。
○ ・ 日報金を 正治っている
○ ・ 日報金と 日発金

▲… 首標論を 下間っている どの問題の内容が自分の最高なのが能かめましょう。

今後の学園に發売ててもらうために、総営評価と学園のアドバイスを禁しています。 ★で始まる藝術の栄養

- 総名評価です。穀倉全律の正束ぐあいについて、あなたへのメッセージを造べてい
- ます。 ◆で始まる交革(原輸3つ) 問題の内容ごとの学習のアドバイスです。重要事項を円度強弱するとともに、誘題 のある問題については、復讐のポイントをあげています。
- 主動・気管や総合の観念部定等等を、レーダーチャートで機能に示しています。 (報告) 「協画」 (報用) の定言率に加え、受益科学等が確定している3つの観音のつち (地議・経験) (改善・報節・報節・実施) の定言率を、レーダーチャートで1つのグラフにまとめています。 おなるの様(→)と、目標・(一)・を見たべ、どの関節がよくできていたか、どの議覧 に機能があるのかを確かめて、予慮の機能に設定でてください。
- ⑤⇒ やってみよう | フォローアップシートの三次流コードと、取り組んでほしい「簡単の内容」を 禁しています。

やってみよう!フォローアップシート R元コードからプリントをダウンロードしてやってみよう. ■特定 ・学報新聞の記事を書く ・デャレンジ問題1

BRIDE - MITS 7889012345 ドセルジ123450789012345 ※フォローアップシートの使用料はかかりませんが、通信器は自己負担になります。



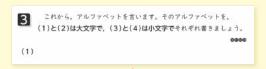
注目 英語も充実のラインナップ 英語特集 ////



小学校外国語の教科化に伴い、標準学力調査に小学校英語が加わりました。 小学校・中学校ともに、「聞く」「読む」 「書く」の3技能からバランスよく出題し、リスニング問題と筆記問題で構成しています。

小学校英語

小学校英語の学習内容について定着状況を確認し、つまずきやすい課題を明らかにすることによって、 小中の接続をスムーズにします。



アルファベットの読み方を聞いてアルファベットを 書く問題では、結果資料に誤答類型を載せています。 誤答を主に以下の4つのパターンに分類し、誤答の 原因を明らかにします。

- ●大文字と小文字の書き間違い
- 24線上の位置の間違い
- ❸読み方の似た文字との間違い
- ④形の似た文字との間違い

身近なやり取りの場面 や、発表学習の場面を 通して、具体的な情報 を聞き取る力、概要を とらえる力を測ります。



聞く



音声で十分に慣れ親しんだ言葉を読むことが できるかを問う問題です。小学校6年生の3学期 版以降では、音声を聞きながら英文を読み、内容 の理解を問う問題も出題しています。





小学校6年生の3学期版以降では、語順 の理解を問う問題を出題しています。

書く問題では、キーワードとなる英語を書き写したり、 例文や語群を参考にしながら、自分の気持ちや考えを 表現したりする問題を出題します。

解答用紙には、第2線と 第3線の間が広い4線を 採用。小文字も書きやすい 仕様です。

	is from	1.
is good at].





小学校英語 聞き取り音声CDサンプル→ ※通信費は、自己負担になります。



中学校英語

学習指導要領に基づき、基礎的な学力の定着を確認しながら、全国学力・学習状況調査などにも対応できる 問題形式です。

「話すこと」の技能は標準学力調査の商品の一つである、 「英語スピーキング調査」 で測ることができます。 詳しくは **P.21** へ! ➡





スピーチや留学生との交流など、実際に 生徒が英語を使用する場面の問題を設定し、 問題を解く目的や必要性を感じられるような 出題を意識しています。

リスニングの問題では、「必要な情報を聞き取る ことができる」「話の概要をとらえることができる」 「説明の要点をとらえることができる」などの力を 測る問題を新たに出題しています。

※リスニングでは、問題形式により、繰り返しありの問題と 繰り返しなしの問題があります。

25



文法問題 (読むこと) や語順整序問題 (書くこと) などで基礎的な学力の定着 を確認します。



英作文では、小学校の「例文や語群を参考に書くこと」 との系統性を重視し、「自分で文章を組み立てて書く こと」へと、レベルを上げた出題をしています。



「読むこと」の活用問題では 図や表などの情報を関連 づけて、より生徒たちが 考えて問題を解くような 工夫をしています。

あな 報をも	たは、アメリカからの留学生に、あなたの友 とに紹介することになりました。これらの情	達(女子)を次の(1)から(3)の情 報を用いて、その友達について希
	英文をそれぞれ書きなさい。	996
(1)	部活	judo club
(2)	好きな教科	math
(3)	サッカー(soccer)ができるかどうか できる(○)できない(×)	0

全国学力・学習状況調査タイプの問題も出題 するなど、様々なタイプの問題に対応する力を 測ることができます。

こと

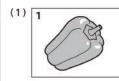
Let's Listen!

小学校5年生 英語調査「レッツ リッスン!」

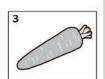
文部科学省発行の小学校英語教材 [Let's Try!] に対応した内容の評価テストです。 小学校中学年までの基礎固めをしっかりとすることで、高学年での学習につなげます。

これから、いくつかのことばを言います。そのことばにあてはまる絵を、次の1~3から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

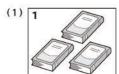
000000000



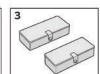




3 これから、英語で質問をします。その質問の答えとなるものはどれですか。次の1~3から | つずつ選んで、その番号を書きましょう。 ●●●







まず、身近な単語の聞き取り問題から始まり、その後、日常場面を想定した対話の聞き取り問題があります。 あいさつ、やり取り、自己紹介など、基本的な英語の理解を確認します。

アルファベットの聞き取り問題では、文字と読み方の 結びつきを確認します。

2 これから、いくつかのアルファベットを言います。そのアルファベットを、次の1~3からしつずつ選んで、その番号を書きましょう。

666666

(1) 1 **F**

2 F

з Н

「レッツ リッスン!」の特長

●文部科学省教材 [Let's Try!] に対応

文部科学省 外国語活動教材 [Let's Try!] に完全準拠した内容です。小学校3・4年生で学習した内容から網羅的に出題しています。

● 「できる」 「楽しい」 が実感できる

イラストが豊富で、はじめて英語のテストを受ける子供 たちでも安心してご実施いただけます。

●問題はすべてリスニング方式

すべて音声CDによる聞き取り問題です。また、すべて 選択肢式となっており、子供たちにとって取り組みやすい 内容となっています。

• 定着状況が確認できる結果資料

先生用の資料では、子供たちの苦手な内容や、どのような 間違いをしているのかを具体的に把握することができ、 今後の指導に活かせます。

商品の 概要 • 実施学年·時期: 小学校5年生·1学期実施

•実施方法: すべて音声 CD による聞き取り問題

●問題数:全38問

販売価格:1人あたり390円(本体355円)

実施時間:20分程度

• **出題範囲**: [Let's Try! 1・2] の全範囲

•解答形式: すべて選択問題

Let's Speak English!

中学校英語

英語スピーキング調査」

英語の4技能の1つである「話すこと」の力を正しく測ることのできる調査です。

「質疑応答」、「やり取り」、「スピーチ」の出題に加え、

発音等の正しさを測る「音読」の問題(「読むこと」の評価)も出題します。



「英語スピーキング調査」の特長

●英語の4技能をトータルで評価

標準学力調査と同時に実施していただくことで、聞くこと、 読むこと、書くこと、話すこと [やり取り] [発表] を網羅的 に評価できます。

●学校の負担が少ない CBT 調査

この調査は、インターネットに接続したコンピュータを使用し、学校で使用されているWebブラウザ上で調査URLに接続するオンライン方式で行います。データを保存するなどの作業は必要ありません。

●すべての教科書に準拠

この調査で扱われる単語、文法は、現在使用されている すべての教科書に準拠しています。未学習の単語や 文法に戸惑うことなく、日々の学習の成果を測ることが できます。

●実績のあるCBTシステム「TAO」を採用

「TAO」は、国内外での大規模調査で実績のあるCBTシステムです。シンプルな操作で受検することができるので、PCの操作に不慣れな生徒も安心して受検できます。

商品の 概要

- **実施学年**: [1 学期実施版] 中学校2、3年生 [3 学期実施版] 中学校1、2年生
- 実施方法・時間:1グループ(20人程度)につき、20~25分程度
- 解答形式: PCに差し込んだヘッドセットを使用した□述式
- 問題数:全8問(音読:1問、質疑応答:5問、やり取り:1問、スピーチ:1問)
- 販売価格: 1人あたり1,650円(本体1,500円)

※ご実施いただくためには、使用するPCが一定の条件を満たしている必要があります。詳しくは担当者にお問い合わせください。

/// 総合質問紙調査 Ĭ-check ///

学習指導要領の改訂に伴い、

主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて、 学校で取り組みが進められていることと思います。 そして、学びの基盤となる学級経営にも、 ますます関心が寄せられています。

i-checkは、「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、子供の個性や背景、今の心のありようを、立体的に描き出す調査です。子供たち一人ひとりが自分を大切に思えているか、クラスの人間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化します。 先生方の学級経営や総合的な児童生徒理解にお役立ていただけましたら幸いです。

質問群のカテゴリー

第1	第2	第3							
		家族のささえ							
	愛されていますか	友だちのささえ							
自		先生のささえ							
自己認識		成功体験と自信							
識	自己肯定感	充実感と向上心							
	日山月足念	感動体験							
		他者からの評価							
		規範意識							
ネ┼	ソーシャルスキル	思いやり(人間関係構築力)							
社会性	J J (7) DATID	発信力							
性		対話・話し合い							
	社会参画	社会参画							
אינ	学級風土	学級の規範意識							
子 級	于似么出	学級の絆							
学級環境	リスク管理	いじめのサイン							
75	り入り自住	対人ストレス							
学品生	生活習慣	生活習慣							
学習活	学習習慣	学習習慣							
慣・	于日日頃	学習意欲							

結果資料一覧

学年資料

・学年の概要

・回答構成比

クラス資料

・リスクマネジメント票

・クラスの概要

・回答結果一覧(質問別、カテゴリー別)

・個人票【先生用】

オプション ・道徳関連資料

・学力とのクロス集計

・年度内複数回実施の推移

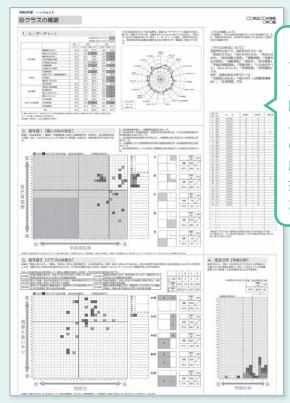
返却資料 ・個人票【児童生徒用】

i-checkの工夫

- 場面を想像しや 表現を工夫して
- 学習指導要領に
- ●結果資料をわか

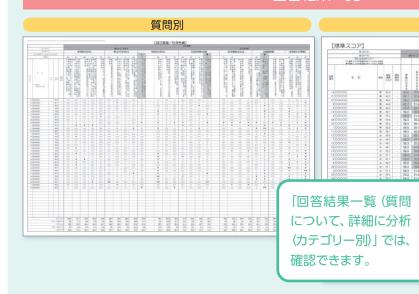
結果資料の紹介

クラスの概要



「クラスの概要」では、レーダーチャートや散布図、度数分布などにより、クラスの現状や課題、成長力等を把握・分析していただけます。

回答結果一覧



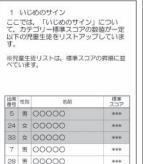
見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。 ______

すく、子供たちの負担になりにくいように、質問文の います。

合わせて、質問項目、カテゴリーを見直しています。 りやすく、短時間で状況を把握できるようにしています。 調査時間:1単位時間程度 質 問 数:54~93問

販売価格:1人あたり420円(本体382円) 調査結果: i-checkの結果資料は、紙帳票+ データ (CD) で納品されます。

リスクマネジメント票



ここでは、「対人ストレス」について、 カテゴリー標準スコアの数値が一定以下 の児童生徒をリストアップしています。 ※児童生徒リストは、標準スコアの昇順に並べています。

出席	性別	名前	標準スコア
24	女	00000	***
33	女	00000	***
2	男	00000	***

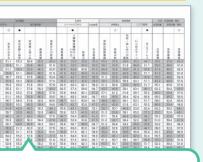
個人票



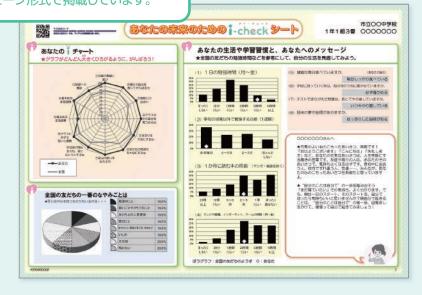
【先生用】は、質問項目への回答状況を抜粋 して掲載しているほか、喫緊の課題を抱える 児童生徒についてはアラートを表示します。 【児童生徒用】は、その子のよいところと課題を、 子供へのメッセージ形式で掲載しています。

いじめや、家庭状況等に困り感のある児童生徒 をリスト化した資料です。短時間で、リスク 管理の面において気になる児童生徒を把握 できます。

カテゴリー別



別)」では、質問ごとの回答状況 していただけます。「回答結果一覧 気になる子供のカテゴリー概要を



学力との相関

標準学力調査と併用していただくと、教科 学力とのクロス集計が可能となります。

道徳関連資料

道徳科の学習指導要領の内容項目との関連 資料です。

※お申し込みいただいた場合のみご提供する、オプション資料です。

*一部の資料は、データのみのご提供となります。

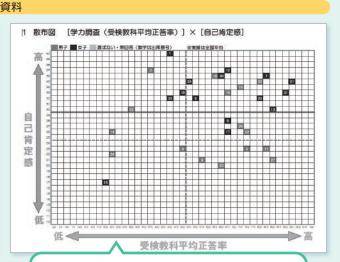
/// 総合質問紙調査 Ĭ-check //////

学力調査とのクロス資料

i-checkを標準学力調査と併用していただくと、教科学力とi-checkのクロス集計が可能となります。



学力層別の回答構成比を 確認することができます。



散布図の横軸に学力をとり、「自己肯定感」 「生活習慣」「学習習慣・意欲」の3カテゴリーと クロスした散布図を確認することができます。

マイアセス

マイカルテ



児童生徒は、自分の端末から、自分の 結果の概要や小問ごとの回答結果を 閲覧できます。 学校カルテでは、散布図の各軸の組み合わせを変えられたり、散布図上のプロットを押すと、該当する児童生徒が名簿上で色付けされるなど、Webならではの表現で、結果がより読み取りやすくなるよう工夫しています。

学校カルテ



その他 質問紙調査

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサル デザインフォントを取り入れています。

※「生活行動・学習活動調査 | 「生活・学習意識調査 | は、段階評価方式ではご利用できません。また、標準学力調査との併用が前提であり、 質問紙調査単体でのお申し込みは受け付けておりません。

生活行動・学習活動調査

[基本的な学力] を支えるのは [基本的な学習習慣] であり、 「基本的な学習習慣」を支えるのは「基本的な生活習慣」です。

学力を支える基本的な学習習慣や生活習慣が身について いるかを自己確認することで、"自らの目標を掲げて主体的に 努力する"児童生徒の育成を目指しています。

学校用資料



標準学力調査と併用して いただくと、学力調査の 結果に基づいた≪学力層 別分析≫の資料をご提供 いたします。

各層の傾向と課題を把握 できるだけでなく、児童 生徒や保護者に対しても、 きめの細い、より具体的な 助言ができます。



個人票



児童生徒一人ひとりが、日々の生活 や学習活動の中で、個々の課題に 応じて具体的な目標を掲げて取り 組めるよう、学力と学習活動の様子 を把握することができます。

調査時間:約30分

質問数:生活行動51問

学習活動 (各教科) 16~18問

販売価格:1人あたり321円

(本体292円)

生活・学習意識調査【標準版】

地域や学校の傾向を、グラフ化 してご提供します。「意識調査は したいが1単位時間はかけられ ない」という場合などに有効です。 (※個人票はありません)

調査時間:約15分

質 問 数:24~52問

販売価格:1人あたり

163円

(本体148円)

標準学力調査と併用していた だくと、学力調査の結果に 基づいた≪学力層別分析≫の 資料をご提供いたします。



学校用資料 N.S.-PERSON (MAN)

H7 H9 H2 H7 123 #14 194 205 943 161 111 42

> 個人データを集計し、学校や クラスの生活状況や学習状況の 傾向を把握できる資料です。

第2学年

〜紙 (PBT) での調査実施の場合のご活用について〜



マイアセスは、東京書籍が提供する「新しいまなび!」のプラットフォームです。

東京書籍の評価関連商品『標準学力調査』『総合質問紙調査i-check』を実施いただくと、紙の結果資料に加えて、

マイアセス上で結果を閲覧することができます。

また、児童生徒はマイアセス上で 「復習サポート」 などの学習活動を 行うことができます。



total IDでつながる、 データ利活用の促進

マイアセスでは、「total ID」という 東京書籍の共通アカウントシステムを導入しています。 1つのIDで、東京書籍の様々なコンテンツや サービスのデータが紐づくようになります。 データ利活用により、今まで以上に子どもたちの 状況に合った学びを実現することができます。

※ GoogleアカウントやMicrosoftアカウントなどを利用した「シングルサインオン」に対応

GIGA端末を利用した オンライン調査のCBTシステム



マイアセス CBT



「マイアセスCBT」は、マイアセス経由でCBTを実施できるサービスです。

令和5年度より『i-check CBT』、

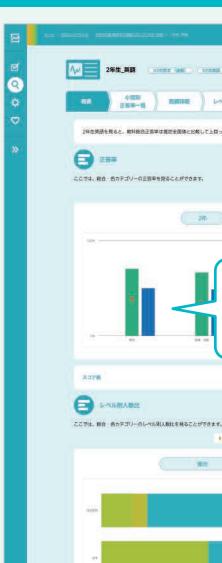
令和6年度より『標準学力調査CBT』を提供しています。

マイアセスCBTを実施の場合、

PBTより早く結果を閲覧することができます。

調査結果をマイアセス上のWeb Webカルテでは、教育委員会用 それぞれ専用のWebカルテを提

学校力



紙の調査のWebカルテ ただし、「子どもカルテ」 サービスがあります。

マイアセス結果資料

カルテで閲覧することができます。

の「教育委員会カルテ」、学校用の「学校カルテ」「子どもカルテ」、児童生徒用の「マイカルテ」と、供します。

ルテ



『標準学力調査』の学校カルテでは、 学年別や教科別、クラス全体、個人 など、先生方の分析の視点に合わせて カルテをまとめています。







は、total IDに新たに登録いただかなくても閲覧することができます。

「マイカルテ」「復習サポート」など、コード連携を行わないと閲覧できないカルテや利用できない

「新しいまなび!」 のプラットフォーム マイアセス //



復習サポート

『標準学力調査』を実施した場合、その復習として、マイアセス上で「ふくしゅうサポート」を提供します。今まで以上に、児童生徒一人ひとりの得意や苦手に寄りそった学習をサポートします。

※「ふくしゅうサポート」を利用するには、total IDアカウント登録を行った上で、コード連携を行っていただく必要があります。



タブドリLive!

「タブドリLive!」と連携し、 自分の結果に合わせて 復習することができます。

※別途「タブドリLive!」の注文が必要です。

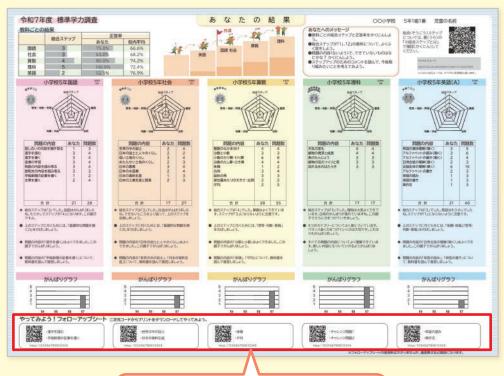


有償サービス



フォローアップドリル

紙の個人票に掲載の二次元コードから、事後復習教材をダウンロードすることができます。



受検いただいた教科は、個人票にピックアップされた問題の内容以外にも、すべての教材をご利用いただけます。自主学習や家庭学習、長期休暇の課題としてもご活用ください。

※フォローアップの利用料はかかりませんが、通信費は自己負担になります。

個人票では、児童生徒の結果をもとに、2種類 のフォローアップをピックアップしています。

事後復習教材の例



↑ フォローアップの サンプル

※通信費は、 自己負担になります。

フォローアップ

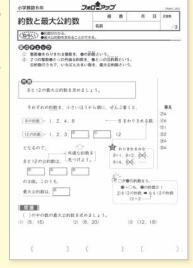
問題の内容ごとに教材を ご用意しています。

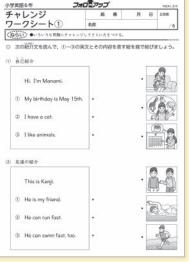
チャレンジワークシート

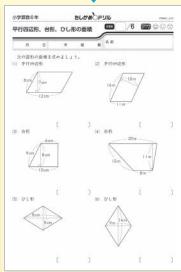
得意な児童生徒は、 応用問題にチャレンジ できます。

たしかめドリル

たしかめドリルは、国語、算数・ 数学、英語 (中学校内容のみ) を ご用意しています。







//// 調査問題のラインナップと概要 ///////

■教科・学年ラインナップ

	学力調査												
	1学期実施版						3	3学期実施	質問紙調査				
	部分改訂版•全面改訂版						部分改	打版・全i	面改訂版				
	国語	社会	算•数	理科	英語	国語	社会	算•数	理科	英語	i-check	生活行動・ 学習活動 調査	生活•学習 意識調査
小1						O		O			0		
小2	$\bigcirc \blacklozenge$		$\bigcirc \blacklozenge$										
小3	0					0	0		0				
小4	0	0		0		0	0		0				
小5	0	0		0	*	\bigcirc	0		0				
小6							0			0			
中1							\bigcirc			\bigcirc			
中2	0	0	0	0	\bigcirc	0	0		0	\bigcirc		0	
中3	0		0	0	\bigcirc	◎*	◎*	*	◎*	© *		0	
販売価格	各学年1教科:400円(本体364円)										420円 (本体 382円)	321円 (本体 292円)	163円 (本体 148円)

- ◎解答時間は、小学校40分、中学校45分です。
- ◆小学校1年生の3学期実施版と小学校2年生の1学期実施版は、解答用紙が問題と一体型となっています。
- ※3学期実施版の全面改訂版では、中学校3年生の発行はありません。
- ★小学校外国語活動の調査については本冊子20ページを、中学校英語スピーキング調査については本冊子21ページをご覧ください。

出題範囲(部分改訂版·全面改訂版共通)

1学期実施版 前学年の学習内容(中学校1年生は小学校内容となります)

3学期実施版 当該学年11月までの学習内容

■評価方式

- 結果資料は、「目標準拠評価方式」と「段階評価方式」の2種類があり、ご注文の際にどちらかを選択することができます。
- ●「生活行動・学習活動調査」「生活・学習意識調査」は、段階評価方式ではご利用できません。また、標準学力調査 との併用が前提であり、質問紙調査単体でのお申込みは受け付けておりません。

■調査結果の納品方法について →11ページも併せてご参照ください

学力調査の結果資料の納品方法は、下記の3パターンからお選びいただけます。

- ①紙帳票のみ
- ②データ(CD)のみ

※紙帳票には含まれていないSP表など追加の帳票データも入っています。

③紙帳票+データ(CD)

※追加料金(1校あたり1,100円(本体1,000円))がかかります。

※①②③いずれを選んだ場合も、 個人票は紙ベースで返却されます。 ■オプション 以下を選択することにより、追加料金を伴うものがあります。

学力調査

- 個人経年比較資料…1人あたり53円(本体48円)となります。
- ※「標準スコア」、「自己内評価」、「ステップ(段階評価)」の3種類があり、1つを選択することができます。
- ※通常の結果資料作成に加えて5営業日いただきます。
- 分析レポート(考察資料)作成機能は、1学年1教科5.500円(本体5.000円)となります。

i-check

• 道徳関連資料…無料です。お申込みの際にご注文ください。

■その他のWebサービス

やってみよう!フォローアップシート…個人票の二次元コードから、ダウンロードすることができます。※フォローアップシートの使用料はかかりませんが、通信費は自己負担となります。

■マイアセスでのサービス提供

- Webカルテ…紙で実施した調査の結果を、マイアセス上のWebカルテで閲覧することができます。 ※児童生徒用の「マイカルテ」と、先生用の児童生徒個人票である「子どもカルテ」を閲覧する場合は、total IDに登録の上、 コード連携を行う必要があります。
- **復習サポート**…児童生徒の端末から、マイアセス上のデジタルドリル「デジタルフォローアップドリル」で、 調査結果の復習に取り組むことができます。

『タブドリLive!』をお申込みの場合は、『タブドリLive!』のドリルで復習することもできます。

- ※『タブドリLive!』は有償です。
- ※マイアセスの利用を希望の場合は、お申込みの際に「マイアセスあり」をご注文ください。
- ※「total ID」は、東京書籍の共通アカウントシステムです。

■調査問題の利用にあたって

- •全面改訂版は、問題用紙を回収しません。調査の公平性を保つため、1学期実施版の問題用紙は6月末、 3学期実施版の問題用紙は3月10日まで児童・生徒に返却せず、校内での使用・保管をお願いいたします。
- •小学校1年生の3学期実施版および2年生の1学期実施版は、採点済みの問題用紙は返却いたしません。

お願い

実施の直前に過去の問題及び事後復習教材で事前練習を行うと、児童生徒の学力を正しく測定することが困難となります。児童生徒の学力を正しく測るため、「事前練習」はお控えください。また弊社学力調査の問題をコピーして児童生徒に実施させるなど、調査問題を2次利用することは著作権の侵害にあたります。

お申込みから結果資料お届けまでの流れ

1 ご注文

調査実施日の2週間前までに、お申し込みください。



問題用紙・実施の 2 手引きなどの送付

- 調査問題・部材の納品には、ご注文をいただいてから 通常5~8営業日ほどお時間をいただきます。
- 自治体単位でのご注文は、納品まで2週間ほどお時間を いただきますので、早めのご注文をお願いします。



🔞 調査の実施

部材納品時に同梱した「実施の手引き」をご確認のうえ、 各種調査を実施してください。



4 解答用紙の返送

「実施の手引き」をご確認のうえ、返送してください。



- 5 結果資料の送付
- 1学期実施版が6月初旬以降順次、 3学期実施版が1月中旬以降順次となります。
- 段階評価方式の結果資料の発送時期は、 目標準拠評価方式と異なります。 下記のDX営業部へお問い合わせください。
- 各種個人別帳票には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。 プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。
- 学校のご都合で、個人用または学校用データを再発行する場合は、 別途有料となります。

※詳細につきましては、ご注文の際、担当者にご相談ください。



東京書籍

支社•出張所

札 幌 011-562-5721 金 沢 076-222-7581 広島 082-568-2577

縄 098-834-8084

仙 台 022-297-2666 名古屋 052-950-2260 福 岡 092-771-1536 東 京 03-5390-7467 阪 06-6397-1350 鹿児島 099-213-1770



営業総轄本部(DX営業部) 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 TEL:03-5390-7577

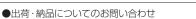
商品についてのお問い合わせは、 全国の支社・出張所または、 営業総轄本部DX営業部までお願いします。

東京書籍サポートダイヤル 0120-29-3363

受付時間 月〜金 9:30〜17:30(※土・日・祝日を除く) ※年末年始および当社の定めた休日も休業いたします

https://www.tokyo-shoseki.co.jp/customer/

お問い合わせURL



沖





●代理店

■企画·制作·発行 東京書籍株式会社 ■コンピュータ処理·運用 (株)学習調査エデュフロント